

成長を支える経営基盤

ステークホルダーエンゲージメント	51
サステナビリティ基本方針	52
コーポレート・ガバナンス	53
コンプライアンス／リスクマネジメント	54
人権／サステナビリティ調達	55
労働安全／品質	56

ステークホルダーエンゲージメント

タキロンシーアイグループは、ステークホルダーの皆様から信頼される企業であり続けるため、様々なコミュニケーションを通じて信頼関係を築き上げ、ともに「人と地球にやさしい未来を創造する」ことを目指しています。

ステークホルダー	すべて	お客様	お取引先	地域社会	行政・自治体	従業員
タキロンシーアイグループの責任	私たち、すべてのステークホルダーの皆さまの期待に応えるため、高い資本効率、公正・公平な情報開示、持続的な成長による企業価値の増大に努めます。	私たちは、お客様の声に真摯に耳を傾け、際立つ技術と品質で、指名され続ける製品・サービスを提供し、お客様と長期的な信頼関係を築くよう努めます。	私たちは、資材調達にあたり、オーパンかつ公平・公正、法令遵守、相互信頼、環境配慮を基本とし、お取引先とのパートナーシップを深め、公正な取引により共存共栄を図ります。また、お取引先のご協力のもと、CSRとコンプライアンスの推進に取り組みます。	私たちは、事業を通じた地域の発展への貢献、地域との共生、環境保全という視点を重視しています。各地域のニーズに合った施策を考え、実行し、信頼される事業活動を推進します。	私たちは、法令を遵守するとともに適時適切な情報開示に努めます。また、行政・自治体と連携し、災害発生時は様々な取り組みを通じて復旧・復興を支援します。	私たちは、従業員のチャレンジ精神をサポートし、一人ひとりが際立ち、多様な人材が活躍する、働き甲斐のある職場づくりを推進します。
ステークホルダーの期待・関心	<ul style="list-style-type: none"> ●企業価値向上 ●公正・公平かつタイムリーな情報提供 ●建設的な対話 ●ESG課題への積極的・継続的な取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ●高品質な製品・サービスの提供 ●適正価格 ●安定供給 ●変化するニーズへの継続的な対応、技術革新 ●グローバル展開 	<ul style="list-style-type: none"> ●公正・公平・透明性のある安定した取引 ●社会・環境に配慮した取引 ●相互メリットのある協業・共同開発 ●品質向上への取り組み ●サプライチェーン全体でのCSR調達の推進 ●災害発生時の連携 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域との共存共栄 ●雇用の創出・地域の発展への貢献 ●地域環境の保全 ●環境負荷低減(事業活動による排出物抑制) ●法令・規則等の遵守 ●安全操業 	<ul style="list-style-type: none"> ●脱炭素社会への貢献 ●循環型社会への貢献 ●社会全体の持続可能性への貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ●活き活きと働くことができる職場 ●ダイバーシティ&インクルージョン ●ワークライフマネジメント(仕事と生活の両立、働き方の選択) ●タレントマネジメント(自己実現・成長に資する機会と場の提供)
コミュニケーションの機会	<p>広報部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ●統合レポート 1回／年 <p>サステナビリティ部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ESG評価機関からのアンケート対応 随時 	<p>広報部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ●Webサイト、広告宣伝 随時 <p>営業部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ●営業活動、ソーシャルメディア 日常的 ●展示場、展示会・イベント 随時 <p>品質保証部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ●品質証明書 日常的 ●検査成績書 日常的 ●納入仕様書 日常的 <p>カスタマーサポート部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ●お問い合わせ対応 日常的 	<p>広報部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ●Webサイト、広告宣伝 随時 <p>コンプライアンス部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ●相談・通報窓口 随時 <p>購買部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ●資材調達活動 日常的 ●仕入先説明会 定期的 ●CSR調達アンケート 1回／年 	<p>総務部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ●従業員によるボランティア活動 定期的 <p>広報部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ニュースリリース 随時 <p>サステナビリティ部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ●NPO・NGOとの対話 随時 <p>工場・事業所</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域交流・学習支援・工場見学会 定期的 	<p>サステナビリティ部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ●従業員によるボランティア活動 随時 <p>工場・事業所</p> <ul style="list-style-type: none"> ●関係行政機関との連携 定期的・随時 	<p>広報部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ●社長メッセージ 随時 <p>コンプライアンス部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ●内部通報制度 日常的 <p>人事部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ●産業医によるカウンセリング 定期的・随時 ●安全衛生委員会 定期的 ●労使協議 定期的・随時 ●従業員アンケート 1回／年 <p>各部門</p> <ul style="list-style-type: none"> ●上司／部下との個人面談 定期的

サステナビリティ基本方針

| 使命実現に向けた経営基盤

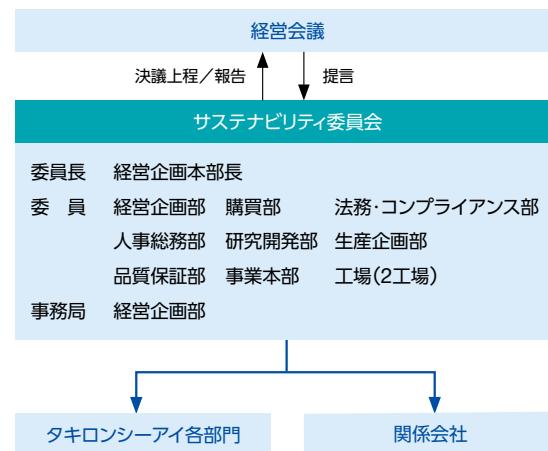
理念体系の整理とサステナビリティ基本方針の策定

タキロンシーアイグループは、「人と地球にやさしい未来を創造する」という使命のもと、豊かな社会づくりへ貢献する事業活動を行っています。2024年4月の企業理念体系見直しに併せて、グループ全体の規程・方針を束ねる上位方針として「サステナビリティ基本方針」を定めました。

当社グループはサステナビリティ基本方針に基づき、持続可能な社会づくりへのさらなる貢献を目指すとともに、企業としての持続的成長を図っていきます。

サステナビリティ経営体制

タキロンシーアイグループのサステナビリティ経営を推進することを目的とし、経営会議の諮問機関としてサステナビリティ委員会を設置し、サステナビリティならびにESG(環境・社会・ガバナンス)に関する経営課題に関し、企画・立案・提言・モニタリングを行っています。



サステナビリティ基本方針

私たちは、「人と地球にやさしい未来を創造する」使命のもと、サステナビリティの推進に努め、事業活動を通じ、高い収益性と企業価値の向上を目指します。

- 1.環境保全への取り組み
 - 2.ダイバーシティ&インクルージョンの推進
 - 3.人権尊重
- 4.公正・適正な取引と持続可能な調達
 - 5.ガバナンスの高度化
 - 6.持続的な企業価値の向上

2024年度実績

1.気候変動への取り組み

2022年度に実施したTCFDシナリオ分析の見直しを進め、当社事業分野における気候関連の機会(ビジネスチャンス)を新たに特定し、これらの機会に対応する戦略を策定しました。

2.ダイバーシティの推進

「女性活躍推進分科会」を「ダイバーシティ推進分科会」に改組し、「グローバル人材の育成」「働き方改革」「多様な人材の活躍推進」を軸に、全ての人々が持てる力を十分に発揮できる企業風土を醸成すべく活動領域を拡大しました。

(主な取り組み内容)

- ・グローバルな人材の育成：海外駐在促進制度の運用
- ・働き方改革：男性社員の育児休業取得支援
- ・多様な人材の活躍推進：1on1ミーティングのトライアル運用開始
ジョブリターン制度の導入
ダイバーシティ&インクルージョン(D&I)の基礎研修実施

2025年度取り組みテーマ

中期経営計画におけるサステナビリティ重点テーマである「気候変動」と「ダイバーシティ」に、近年取引先から取り組み強化を求められている「サプライチェーンマネジメント」を加えた3テーマを、2025年度の重点活動テーマとして取り組んでいきます。

1.気候変動

- ・温室効果ガス排出量の削減
- ・気候変動に関する社内周知啓蒙施策の実施

2.ダイバーシティ

- ・グローバル人材の育成
- ・D&I推進の取り組み(働き方改革/多様な人材の活躍推進)
- ・D&Iに関する社内周知啓蒙施策の実施

3.サプライチェーンマネジメント

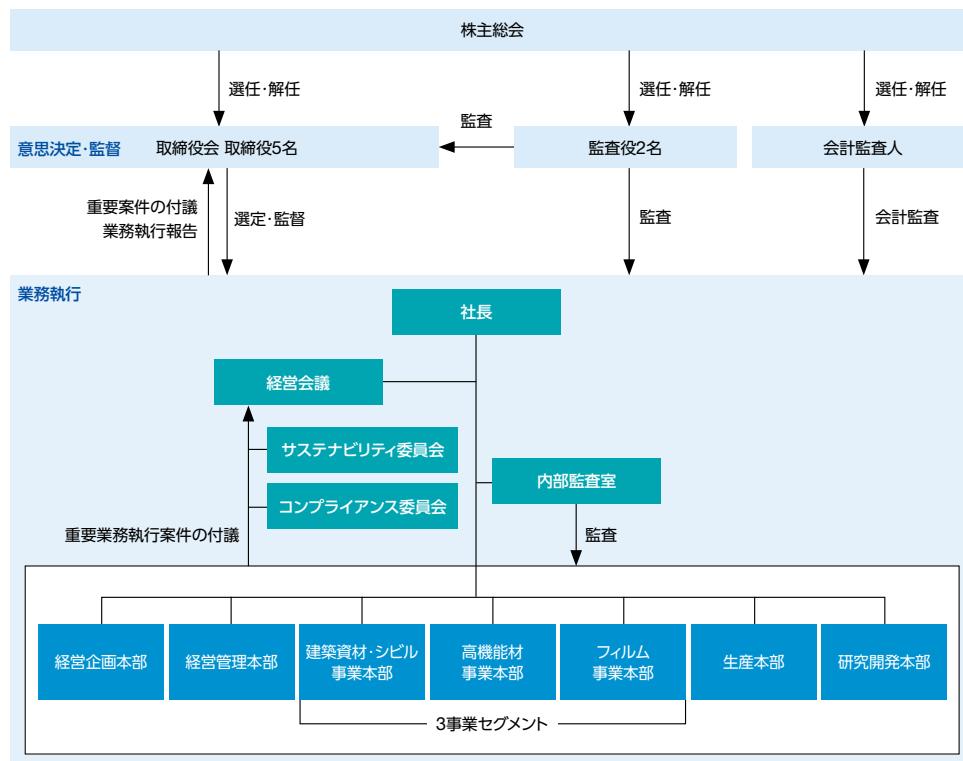
- ・持続可能なサプライチェーンマネジメント実行に向けた課題特定と対応策の立案

コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンス 基本方針

当社は当社グループ全体の経営戦略の中核に中期経営計画を据え、当社グループの目指すべき方向性を内外に示し、目的達成に向けた意思の統一を図ります。また、中期経営計画の達成がステークホルダーの皆様の利益に繋がるとの観点から、目標達成に向けた活動においてステークホルダーの皆様と積極的に協働していきます。ガバナンス上の観点から、当社では監督と業務執行を明確に分けるために執行役員制度を導入し、取締役および執行役員の職務および業務の執行に対して、取締役会が実効性の高い監督を行います。

コーポレート・ガバナンス体制



取締役・監査役・執行役員 (2025年8月1日現在)

取締役

代表取締役社長 研究開発本部長 福田 祐士	代表取締役副会長 フィルム事業本部長 上田 明裕	取締役 専務執行役員 経営企画本部長 兼 高機能材事業本部長 菊地 浩徳
1979年 伊藤忠商事株式会社入社 2023年 当社代表取締役社長(現在) 2024年 クオンタムソリューションズ株式会社 社外取締役(現在)	1982年 伊藤忠商事株式会社入社 2024年 当社代表取締役副会長(現在)	1985年 当社入社 2025年 当社取締役 専務執行役員(現在)

取締役 常務執行役員
経営管理本部長 兼CCO 兼 CIO
兼 内部統制担当

監査役

福島 昇	取締役
1987年 伊藤忠商事株式会社入社 2023年 当社取締役 常務執行役員(現在) 2025年 クオンタムソリューションズ株式会社 社外取締役(現在)	石橋 忠

監査役

常勤監査役 三宅 貴久	監査役 杉浦 英樹
1984年 当社入社 2025年 当社顧問 同年 当社監査役(現在)	1992年 伊藤忠商事株式会社入社 2024年 同社エネルギー・化学会社 CFO(現在) 同年 当社監査役(現在)

常務執行役員

建築資材・シビル事業本部長 松井 健司

執行役員

経営企画部長 金原 一弘	タキロンシーアイシビル株式会社 瀬口 则和	生産本部長 藤田 孝之
研究開発本部副本部長 洪水 治	新事業推進部長 廣松 智之	生産本部 副本部長 兼 設備技術部長 下條 敏照

コンプライアンス

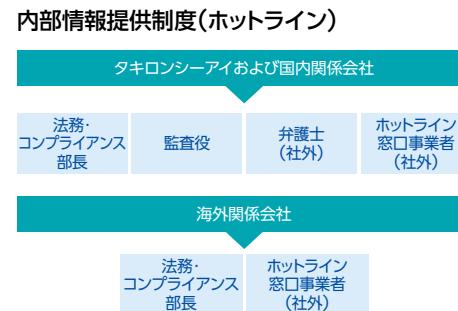
基本方針

タキロンシーアイグループは、社会的責任を自覚し、法令遵守と社会倫理に適合した行動を目的とする「企業行動基準」を定めています。また、コンプライアンス体制を強化するために「コンプライアンス・プログラム」を制定し、4つの基本方針を定めています。

コンプライアンスの基本方針

- 健全な組織文化・風土
- 適正な制度の整備・維持
- 高いコンプライアンス意識
- 公平・公正の遵守

体制



2024年度実績

2024年度に、内部情報提供制度を通して寄せられた件数は71件でした。コンプライアンス体制強化に向けた活動の実績は、下表のとおりです。

2024年度の主な活動実績

体制・仕組み整備	役職員全員による「コンプライアンス宣言」を実施 コンプライアンス体制の強化を目的とし、コンプライアンス・プログラム、コンプライアンス責任者等従事者マニュアルを改定 コンプライアンス事案の再発防止策の有効性の判断を目的とし、コンプライアンス事案6ヶ月後レビュー実施
教育・啓蒙	全役職員対象：コンプライアンス研修の開催（ウェビナー視聴もしくは録画資料の閲覧） 役員及び管理職対象：下請法（eラーニング）実施 全役職員対象：職場の風通し改善のため、組織ごとにグループワークを実施（1回） コンプライアンス責任者対象：CCO会議（2回）、CCO巡回（12回）
調査	全役職員対象：コンプライアンス意識調査の実施 コンプライアンス責任者対象：モニターレビューアンケートの実施 全事業所対象：許認可届出状況の点検

リスクマネジメント

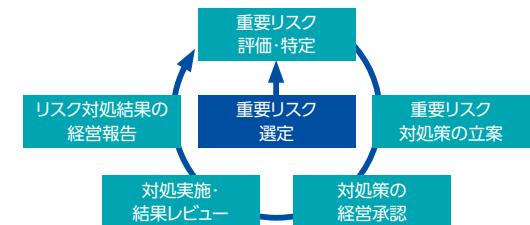
基本方針

タキロンシーアイでは、リスク管理体制を整備し、グループのリスクを組織的にマネジメントすることで、損失等の回避または低減を図り、企業価値を高めることを目的とし、「リスク管理規程」を定めています。

体制

経営企画部をリスク管理事務局とし、年度ごとにリスク管理のマネジメントプロセスを運用しています。

タキロンシーアイグループのリスクマネジメントプロセスは、企業活動に与える発生頻度、対処状況を総合的に勘案し、重要リスクと対処実施主管部門を選定した上で、具体的な施策の立案・承認を行い、運用実施後に結果をレビュー。翌年度は新たに重要リスクを設定し、経営会議で報告・承認を得るサイクルを実践しています。



2025年度リスク管理項目

2025年度のリスク管理項目は下表のとおりです。

2025年度重要リスク管理項目

対象リスク	対処実施主管部門	リスク項目
収益力低下	各事業本部 経営企画本部	国内市場の縮小 海外市場の開拓遅延
原材料価格変動	経営企画本部	世界情勢緊迫化に伴う原油価格高騰 円安による国産ナフサ価格高騰
米国相互関税リスク	各事業本部 経営企画本部	製品価格競争力低下による輸出鈍化 原材料価格高騰による収益悪化
情報システム体制強化の遅延	経営管理本部	ITスキル低下によるシステムトラブル発生 情報セキュリティ低下による情報漏洩、サイバー攻撃被害 経費管理不足によるシステム経費増加
人材		次世代コア人材の採用および育成遅延による業務レベル低下 優秀な人材の流出
物流	生産本部 経営企画本部	物流コストの増加 物流改正法に伴う諸問題

人権

基本方針

「タキロンシーアイグループ人権方針」では、国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」をはじめとする人権に関する国際規範を支持しており、自らの事業活動において影響を受けるすべての人々の人権を尊重する取り組みを進めています。



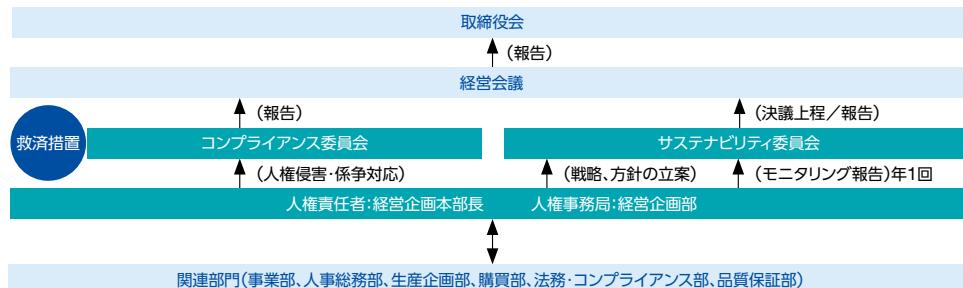
タキロンシーアイグループ人権方針

https://www.takiron-ci.co.jp/news/2023/post_327.html

体制

タキロンシーアイグループは、人権事務局や関連部門が連携し、人権の尊重に向けた取り組みを進めています。またサプライチェーン上で発生する問題についても、購買部や事業部などと連携し取引先への働きかけを行っています。

人権の推進体制図



救済措置

タキロンシーアイグループでは、潜在的な人権リスクに対する救済手段として、社内向け通報窓口（ホットライン）や、社外向けお問い合わせ窓口を設置しています。対応が必要な事案はコンプライアンス委員会にて客観的に対処され、対処策や再発防止策が講じられます。

2024年度実績

人権に関する啓蒙教育

2024年度は管理職を対象に、人権課題に関するeラーニング教育を実施し、人権に関する基本的な知識習得を図っています。

サステナビリティ調達

CSR調達方針

タキロンシーアイグループは、プラスチック素材およびその加工技術をベースに、環境との調和を図り、人にやさしい製品を社会に提供することを使命とし、持続可能なサプライチェーン構築を重視しています。人権・安全衛生・環境保全・労働環境などに配慮した「CSR調達方針」を掲げ、価値観を共有できる取引先との信頼関係を深めながら、責任ある調達活動を推進しています。

タキロンシーアイグループCSR調達方針

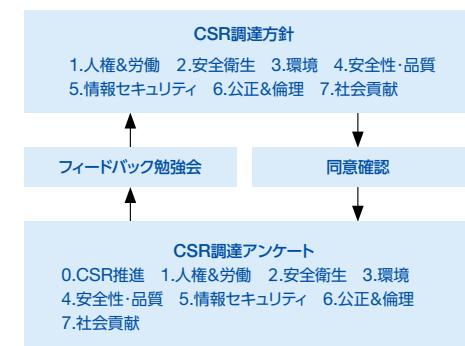
2021年4月1日

- 人権と労働環境の尊重
- 安全衛生への配慮
- 環境活動の維持と強化
- 製品の安全性・品質の保証と改善
- 情報セキュリティの維持と強化
- 公正取引と企業倫理の遵守
- 地域社会との対話や、社会貢献活動への参画

取り組み

当社は持続可能な調達体制の構築に向けて「CSR調達方針およびガイドライン」を定め、調達額構成比上位9割の取引先を対象に説明会を実施し、方針に対する同意を得ています。

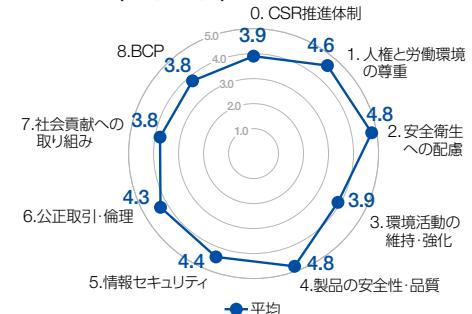
またCSR調達アンケートのレビューから、サプライヤーとの勉強会や個別面談などを通じて、サプライヤーのESGに関する取り組みの実態把握と改善に向けた検討を進めており、より持続可能な調達体制の強化に努めています。



実績

調達額の約9割を占める64社に対し、人権・環境・BCP等9項目のCSR調達アンケートを実施しています。結果(右図)を踏まえ、改善が期待される14社向けに2024年1月に勉強会を開催しています。2025年度は、CSR調達アンケートを計画しています。今後も、サプライヤーの皆様のご理解とご協力をいただきながら、社会的責任への意識を高め、CSR調達の推進に努めてまいります。

調査項目(対象64社)



勞動安全

| 基本方針

2024年度、グループ企業理念の「尊重すべき価値観」に、「安全 基本理念」が組み込まれました。あわせて安全衛生方針に基づき、グループ各社が安全衛生活動を展開・推進し、労働災害予防や再発防止を実施しています。

| 体制

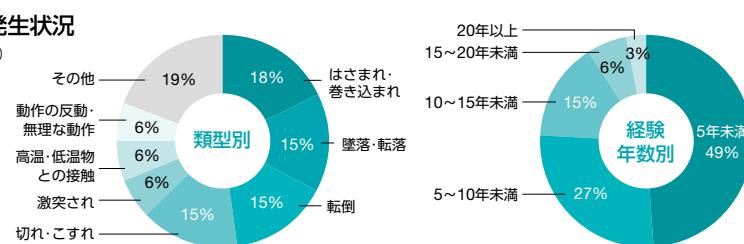
グループ全体で労働災害やヒヤリハットの発生情報とそれに対する対策をシームレスに共有し、安全意識の向上を一丸となって推進し、リスクを的確に把握・最小化する取り組みを実行しています。

| 2024年度実績

タキロンシーアイグループの各生産拠点では安全衛生委員会を中心に全員参加の安全衛生活動を行っています。2024年度は、労働災害とヒヤリハットの発生原因を「なぜなぜ分析」で深掘りし、対策を立案する活動を行いました。また、外部業者による安全文化診断によって各拠点の安全活動のストロングポイントとウエークポイントを抽出し、ウエークポイントを改善する活動を各拠点で実施しています。2024年度労働災害発生状況は次のとおりです。

2024年度労働災害発生状況

2021年度方略大目標



品質

| 基本方針

タキロンシーアイグループでは、「G
Beyond 革新」をアクション・スローガンに、固
定概念にとらわれずお客様の期待を越える製
品を提供していくため、お客様ニーズの充足
とさらなる顧客満足度向上に向けた品質保証
活動を推進しています。

品質基本方針

私たちはすべての事業活動において、お客様との信頼関係を構築・強化し、顧客満足の向上を目指します。

体制

品質保証活動の基礎となる仕組みとして、ISO9001に適合した品質マネジメントシステム(QMS)を各生産拠点で運用しています。

QMSにおける改善活動体系図



Ⅰ 化学物質管理について

タキロンシーアイグループでは、化学物質含有調査報告書やSDSを活用し、サプライヤーとの連携強化やライフサイクル全体を通じた化学物質トレーサビリティ向上に継続的に取り組んでいます。

2024年度の化審法改正で第一種特定化学物質に指定されたUV-328を含有していた一部製品は、昨年度までに環境負荷の少ない代替材料へ切替えを完了し、安全性と環境配慮の両立を図っています。